

子どもにやさしいまちは、みんなにやさしいまち。

保谷 なおみ

西東京市議会議員
女性^の地域力



保谷なおみ 池沢たかし

池沢 たかし

前西東京市副市長
行政の^超エキスパート

保谷なおみ市議会報告の特別企画として、前西東京市副市長の「池沢たかしさんとの対談」を企画しました。



新型コロナウイルスの
ワクチン接種、
市内経済を元に戻す支援を。

保谷 新型コロナウイルスは、報道ではワクチン接種が大きな話題となっています。池沢さんが考える、今後の対策のポイントを教えてください。

池沢 新型コロナウイルスは、本格的な感染症のシーズンに突入した今が勝負であると感じています。健康の視点から、また、市内経済を元に戻す視点から、その両面で、対策を考えていきたいと思えます。

保谷 ワクチン接種について、どうお考えですか。
池沢 西東京市でも、ワクチン接種の準備を始めています。全市民がすみやかに接種を受けることのできる体制を作っていきます。

保谷 市内事業者の皆さんについては、とても心配です。このあたりはどうお考えですか。

池沢 市内経済の冷え込みは深刻です。

国や東京都からの支援メニューもたくさんありますが、それでは足りない部分は、身近な西東京市が、きめ細かく支援していく必要があると考えています。
保谷 PCR検査はいかがですか。



ひばりが丘駅南口
市内経済の冷え込みは深刻



池沢たかし

前西東京市副市長。旧保谷市役所に入庁し、以来39年間奉職。行政の「超」エキスパートであると同時に、無類の演歌好きという面もある。

池沢 PCR検査については、真に必要な人は受けられる体制が、すでに西東京市には用意できています。引き続き、その体制を維持します。

子どもにやさしいまちは、
みんなにやさしいまち。

保谷 子どもについてはどうですか。
池沢 私は、教育長職務代理者も務めていました。子どもの命を預かるということは、責任重大だと痛感しました。その経験もふまえ、子どもにやさしいまちをつくらせていきたいと思えます。

保谷 子どもにやさしいまちは、みんなにやさしいまちだと思います。

待機児童対策は、働く親御さんのためでもあるし、子どもがのびのびと安心して遊び育つことができるので、子どものためでもあります。

学校施設は、子どもが学ぶ場であると同時に、地域コミュニケーションの要でもあります。



西東京市に全力!!

いけ ざわ 池沢たかしプロフィール

前西東京市副市長



1959年(昭和34年)生まれ。西東京市北町在住。谷戸幼稚園卒園後、谷戸小学校へ入学し、保谷第一小学校へ転校し卒業。青嵐中学校、都立保谷高等学校、同志社大学法学部卒業後、旧保谷市役所入庁。以来、勤続39年。

2001年(平成13年)の田無市・保谷市合併の際は中心的役割を果たし、新市建設の策定、その後の西東京市初の総合計画、財政フレームの策定に携わった。47歳で西東京市最年少の部長となる。

企画や財政のエキスパートであると同時に、高齢者支援課長、教育長職務代理者などを歴任し、福祉や教育の現場にも強い。

2013年(平成25年)、副市長に就任。約8年間、丸山市政を支える。

- 家族 妻・娘3人(結婚して独立)・孫5人のジイジでもある。
- 趣味 登山・ジョギング・料理



ホームページ



Facebook



LINE

池沢 池沢さんと力を合わせて、西東京市をもっと発展させていきたいと思っています。

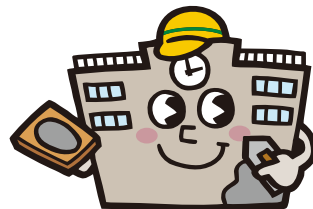
保谷 今日、西東京市は市民とともに発展するまちだと思っています。西東京市民の思いをつないで、まちづくりをさらに前へ進めてまいります。

池沢 保谷議員は、私の妹と同年ですが、女性の代表としてだけでなく、今では、議会運営委員会の委員長として、議会のけん引役を果たされています。

西東京市民の思いをつなぐ

池沢 私も同感です。行政としては、地域コミュニケーションの受け皿としても、学校施設は重要と考えます。西東京市の公共施設の6割が小中学校ですが、でも、老朽化も進んでいます。8割の学校が、建設後40年、50年経過しています。少子高齢化の時代ですが、学校を建て替えるのか、またはメンテナンスをするのか、いずれにしても、しっかりやっていきたいと考えます。そのためには莫大な費用がかかります。財源を確保するのが、喫緊の課題だと思っています。

池沢 私も同感です。行政としては、地域コミュニケーションの受け皿としても、学校施設は重要と考えます。西東京市の公共施設の6割が小中学校ですが、でも、老朽化も進んでいます。8割の学校が、建設後40年、50年経過しています。少子高齢化の時代ですが、学校を建て替えるのか、またはメンテナンスをするのか、いずれにしても、しっかりやっていきたいと考えます。そのためには莫大な費用がかかります。財源を確保するのが、喫緊の課題だと思っています。



近況報告

今回の特別号では、西東京市前副市長 池沢たかしさんとの対談を企画しました。本文には書けませんでした。池沢さんは「利他の思い」ということをモットーにしているそうです。自分ではなく、他人のことをまず考えるという意味だとか。池沢さんとは日頃近くで接することが多いですが、言葉と行動がいつも一致しているので、たいへん信頼しています。家庭では良き夫、良き父、そして最近では良きジイジで、笑顔の中心にいつも池沢さんの姿がある本当に理想的な家族で、ここでも言葉と行動が一致しているようです。お見事!

保谷なおみのプロフィール



昭和37年(1962年)西東京市生まれ。碧山小学校、ひばりが丘中学校、お茶の水女子大学附属高校、東京大学文学部卒業。元学習塾講師。保護司。平成14年、西東京市議会議員選挙初当選。議会運営委員長。

- 趣味 ウォーキング・水泳・フラダンス(月2回程度) 読書・映画鑑賞・音楽鑑賞・美術館めぐり。



ホームページ



LINE

保谷なおみ後援会事務所

〒202-0013 西東京市中町4-2-18 TEL 042-453-1104 FAX 042-422-0104